

「愚かな金持ち」のたとえ

ルカによる福音書 12:13-21

(そのとき、) 群衆の一人が言った。「先生、わたしにも遺産を分けてくれるように兄弟に言ってください。」イエスはその人に言われた。「だれがわたしを、あなたがたの裁判官や調停人に任命したのか。」そして、一同に言われた。「どんな貪欲にも注意を払い、用心しなさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」それから、イエスはたとえを話された。「ある金持ちの畑が豊作だった。金持ちは、『どうしよう。作物をしまっておく場所がない』と思い巡らしたが、やがて言った。『こうしよう。倉を壊して、もっと大きいのを建て、そこに穀物や財産をみなしまい、こう自分に言ってやるのだ。「さあ、これから先何年も生きて行くだけの蓄えができたぞ。ひと休みして、食べたり飲んだりして楽しめ」と。』しかし神は、『愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いったいだれのものになるのか』と言われた。自分のために富を積んでも、神の前に豊かにならない者はこのとおりだ。」

説教

きょうの福音はわたしにとっては興味をひかない箇所です。

どう読んでみてもただのつまらない坊主説教としか、イエスのたとえも、イエスの教えもうけとれません。どこがつまらないのか説明します。

1. 貪欲に注意せよ。→貪欲は悪だ。
2. 人のいのちは金ではかえない。
3. たとえ話（金持ちが欲をもったので、神がその日のうちにいのちを取り上げた）
4. 自分のために富をつんでも、神の前に豊かにならない者はこのと

おりだ。→献金しないと死ぬよ。

1、2は当たり前のはなしで一般論です。たとえ話は貧乏な人には痛快なはなしですが、いやな結論（献金強要）となっています。つまらない説教で、これを良き知らせ＝福音とうけとることはわたしにはできません。

きょうと同じ箇所ですが、3年前（2013年の8月4日付け）の説教ではイエスがことばに残さなかったことをコヘレトが知っている、と書きました。そのときは、ルカがつたえる福音をコヘレトの言葉でおぎなって読もうとしました。

きょうの第一朗読はコヘレトの言葉の2章の抜粋がのっています。2章を要約するとこのようなことが書いてあります。

1. 知恵の探求はすべてむなしい
2. 快樂の追求の実験もむなしかった
3. 知恵と愚かさの価値の違いも死によって無意味、死の前には同じ
4. 労苦のむなしさ
5. 現実を楽しめ

知恵と知識と才能を尽くして労苦した結果を、まったく労苦しなかった者に遺産として与えなければならないのか。これまた空しく大いに不幸なことだ。（コヘレトの言葉 2:21）

これは「先生、わたしにも遺産を分けてくれるように兄弟に言ってください」と始まるきょうの福音の解答のひとつになっています。

イエスに相続問題を訴えたひとが金持ちなのか、貧乏なのか。

また、相続財産をひとり占めしようとしているその人の兄弟が金持ちでただの貪欲なだけなのか、それともその兄弟は借金で首の回らない極貧に苦しんでいるのか、という背景がわからないので、コヘレトの2:21がはたして正しい答えなのかは正確なところは判断はできません。しかし、相続財産を残したかれらの親（なのか親戚なのか）からしてみれば、子どもたちが遺産相

続でもめぐとになっているのを草葉のかけから「これまた空しく大いに不幸なことだ」となげいていることは想像できます。そういう意味でコヘレトはただしい解答をしているのだとわたしはおもいます。それに比べてイエスの答えは「貪欲なものはあした死ぬよ、相続財産が手に入ったら神の前に豊かになりなし→献金しなさい」です。つまらない坊主説教として読み飛ばしたくもなります。

でもふと思い当たったのですが、なぜルカはこの記事を福音として書き残したのだろうか？という疑問です。共観福音書のなかにこの記事に関しての平行箇所はありません。ルカだけが採用した記事です。なにかの暗号になっているのか、総合的に聖書を読めばここに隠された真の意味が読み取れるのか？という疑問がわたしに浮かびました。ずーっと心にかけて思いをめぐらせているのですが、残念ですがいまのところなにもわかっていません。ただ、ヒントはここにあるのかもしれませんが。旧約と新約の聖書箇所なのですがどちらもひどい話ですが要約を紹介してきょうの終わりとします。一見するとひどい話に思える中に、私たちの救いをみいだすことができますように。

民数記 11 章

（マナは食べ飽きたという民の泣き言に対して、神はうずらを山ほど与え、民は貪欲にそれを集め貯え、満腹したが神はその貪欲な民を疫病でただちに殺した）

使徒言行録の 5 章「アナニアとサフィラ」

（アナニアとサフィラ夫婦は教会のために土地を売って献金したが、全額を献金しないのに全額だと偽り、そのことをペトロにとがめられて二人とも憤死した）
